2024年度事業計画

**Ⅰ．社会的養護の必要な子どもの自立支援**

**１．こども・若者未来基金**

①　こども・若者未来基金による、自立のおうえんを継続します。

②　自立援助ホーム、アフターケア事業者、児童養護施設、里親家庭などとつながりのある子ども若者を、伴走者（支援者）とともに支援していきます。

③　8月に、こども・若者未来基金の募集要項を、児童養護施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、中核地域生活支援センター、生活困窮者自立支援相談機関、児童相談所等へ送付し、9月15日から11月15日まで、申請を受け付けます。

④　こども・若者未来基金の寄付募集目標は、12,000,000円とします。

⑤　クラウドファンディングなどを活用しながら、広く県民に周知していきます。

⑥　こども・若者未来基金の趣旨に賛同いただいている県内3生協（パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協）や他団体と情報を共有し、それぞれの団体に合った方法で寄付を呼びかけます。

⑦　「こども・若者未来基金」の周知のため9月に2回シンポジウムを開催します。

⑧　ちばこどもおうえんだんの会員や寄付者には、12月のボーナス月に寄付を呼びかけます。また、シンポジウムなどの際に呼びかけをします。

⑨　5/25（土）に「こども・若者未来基金2023報告会」を開催します。

⑩　8月に基金交流会を開催します。

**２．食料衛生用品支援**

基金でつながった子ども・若者への食料衛生用品支援を実施します。

**３.就労支援**

就労支援、居住支援について、関係機関と調整しながら連携をしていきます。

**４.その他**

　　これまでの実績をまとめた報告書の作成を検討します。

**Ⅱ．貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業**

1. ちば子ども虐待防止研究会（通称JaSPCANちば）(2017年度虐待防止学会ちば大会実行委員を中心とする団体)等と、ゆるやかに連携し、子どもたちの支援につなげます。
2. 千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、啓発のイベントを実施します。

**Ⅲ．里親家庭支援について**

1. これまでに不足していた里親家庭への支援を充実させ社会的な認知度が増すことは、社会的養護を受ける子どもたちの健やかな成長に繋がっていきます。これまでの経験を活かし、千葉県・千葉市の里親関連の事業にも積極的に応募や参加し関わっていきます。

２.「千葉市里親委託等推進委員会」に参加し、千葉市における里親推進の状況把握、また関係機関や他団体との情報共有を進めます。

**Ⅳ．啓発・広報事業**

**１．啓発事業**

①　社会的養護下の子どもたちの自立について考えるきっかけとなり支援につながるよう、シンポジウムなどを開催します。

②　児童虐待防止に関する啓発活動に参加します。

**２．広報事業**

①　ニュースレターやSNSでの情報発信を通じて、ちばこどもおうえんだんの活動や情報を社会へ広く伝えます。

②　ちばこどもおうえんだんに参加する県内3生協（パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協）の機関紙等を通じて、組合員に向け、ちばこどもおうえんだんの活動について知らせます。

③　新規ホームページを立ち上げます。

**Ⅴ．調査研究活動事業**

１．これまでの実績をまとめ、報告書の作成を検討します。（再掲）

２．社会的養護の「子どもの意見表明のあり方」等の調査を行っていきます。

３．2024年4月施行となる女性支援新法や改正児童福祉法等について、他団体と情報共有、連携しながら課題解決等の取り組みに参加していきます。

**Ⅵ．その他**

1. 2021年度から2023年度まで推薦した学生に引き続き、2024年度は新たに3名の学生を「パルシステム給付型奨学金」に推薦し、計8名の伴走を行います。施設職員と連携を取りながら、おうえんだんスタッフ複数体制で対応します。
2. 2024年度よりNPO法人ちばこどもホスピスプロジェクトの事務事業を受託します。
3. 生活クラブ千葉グループが主体となって活動していた「わくわくプロジェクトCHIBA」は2023年度で終了しましたが、これまでの経験を活かした高校生との繋がりを再構築していけるような活動を今後も検討していきます。
4. 認定NPO法人更新の申請を行います。

**Ⅶ．組織運営**

**１．運営体制**

　事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催します。

理事会：年5回

　　　こども・若者未来基金運営委員会：おおむね2月に1回程度

　　　こども・若者未来基金生協実務者会議：5回程度

**２．会員拡大について**

①　認定NPOとして3,000円以上の寄付者（おうえん会員=賛助会員を含む）が年平均100人以上になるように会員の継続を促し、新たな会員の入会を目指します。

②　寄付者の寄付控除について、一層の周知を図ります。

　【目標数】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会員種別 |  | 目標（人数・団体数） | 目標（口数） |
| 運営会員 | 個人 | 16人 | 20口 |
| 団体 | 5団体 | 54口 |
| おうえん会員 | 個人 | 150人 | 170口 |
| 団体 | 10団体 | 12口 |